

「『科学技術イノベーション政策の科学』のための人材育成」

大阪大学・京都大学合同拠点
人材育成プログラムの内容紹介

拠点名称

公共圏における科学技術・教育研究拠点

Program for Education and Research on
Science and Technology in Public Sphere

(perSTiPS)

<http://stips.jp/>



1. 全体構想における本拠点の位置づけ

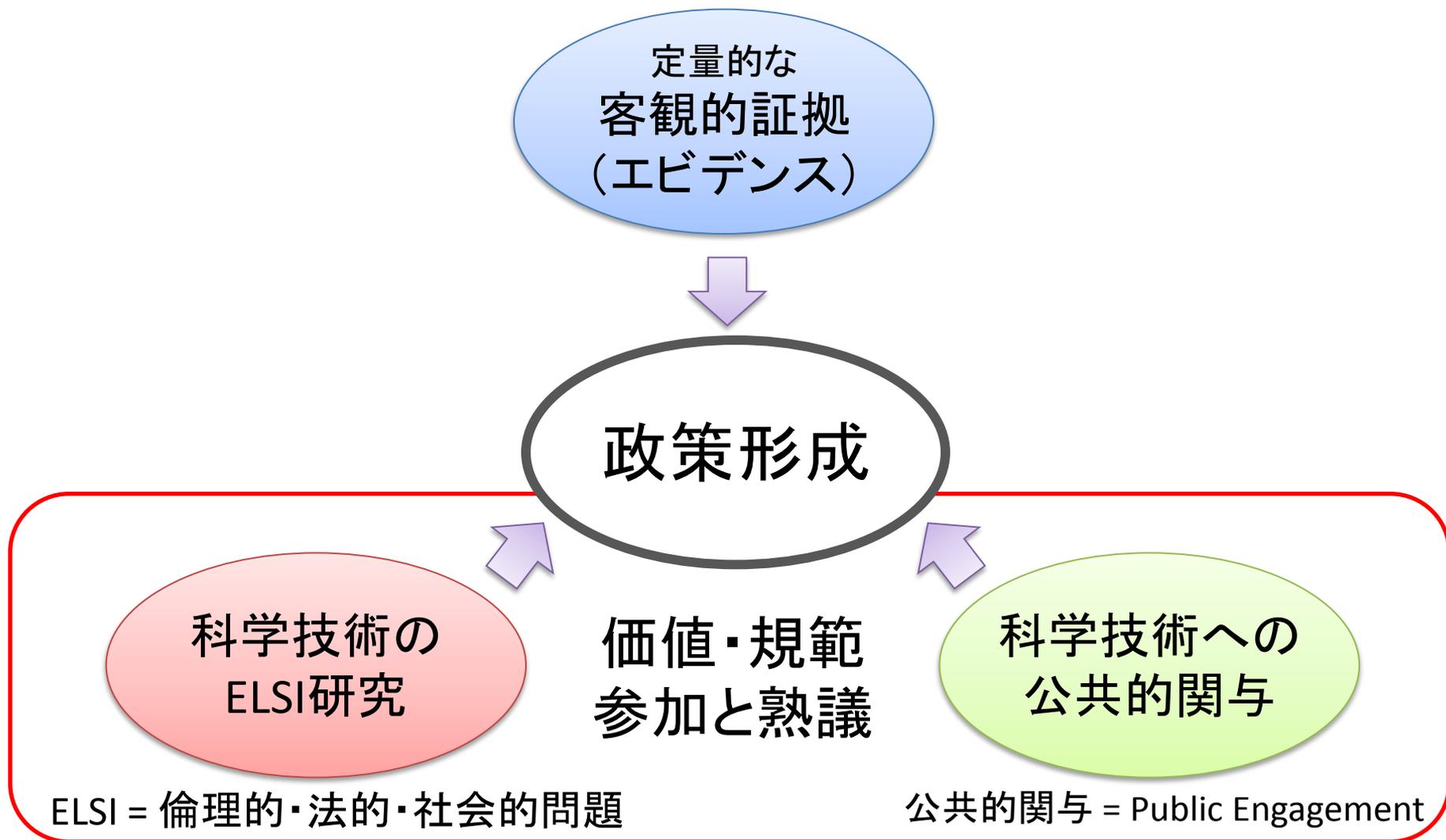
整備方針

1. 客観的根拠に基づく政策形成・実施を担う高度専門人材
2. 「科学技術イノベーション政策のための科学」という研究領域を担う研究人材
3. 「科学技術イノベーション政策のための科学」と自然科学・人文社会科学等、各専門領域をつなぐ人材



「科学技術の倫理的・法的・社会的問題 (ELSI)」研究と
「公共的関与 (public engagement)」の実践・分析を土台として、
学問諸分野の間 } を“つなぐ” 人材の育成
学問と政策・社会の間 }

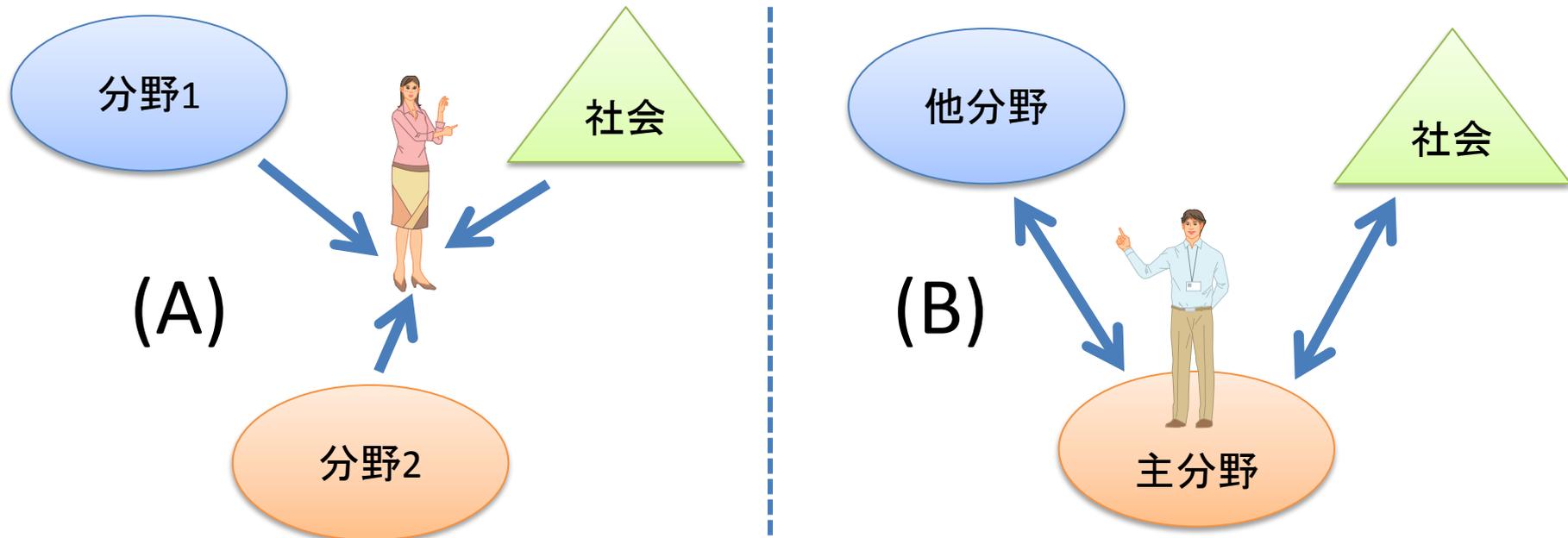
1. 全体構想における本拠点の位置づけ



2. 育成する人材像：2種類の「つなぐ人材」

(A) 異分野・異領域の「間」に立って橋渡しをする
「媒介者」としてのつなぐ人材

(B) 個別分野の研究を行いつつ、その分野と他分野・他業種・市民等をつなぐ人材



2. 育成する人材像：想定されるキャリアパス

- ❖ 大学、研究機関、企業などの各種研究職
 - 「主政策のための科学」の素養を備えた人材として就職
- ❖ 行政職、政策秘書、シンクタンク職員、大学の研究戦略担当
 - 「政策のための科学」の素養と直接関係の深いキャリアパス。研究大学の研究戦略 (research policy) 担当者の需要も想定
- ❖ リスクコミュニケーション人材
 - 中央・地方行政や産業界などを想定

3. 学内におけるプログラムの紹介

平成25年度 カリキュラム構成

科目カテゴリー

履修科目数と単位数

入門必修科目

2単位

連携必修科目（ディスカッション型、阪大・京大合同）

2単位

必修科目（研究プロジェクト）

2単位

選択科目Ⅰ：
基軸科目群

例) 社会における科学技術：
理論・質的調査・事例研究
科学技術とコミュニケーション

8単位以上（選択科目ⅠおよびⅡから1科目ずつ以上を選択、計4科目×2単位）

選択科目Ⅱ：
イシュー科目群

例) 科学技術と社会特論
（ホットイシュー科目）

3. 学外におけるプログラムの紹介

ラボカフェ

- ❖ 市民とともに**公共圏**における**科学技術**の在り方を考える
- ❖ 関西の研究者・実務者・市民の**ネットワークづくり**

- ・7月12日
岸本充生(産総研)
「レギュラトリーサイエンス」
- ・7月19日
宮田由紀夫(関西学院大学)
「イノベーションと大学の役割」
- ・8月2日
玄場公規(立命館大学)
「環境イノベーション」
- ・9月13日
関根千佳(同志社大学)
「ユニバーサルデザイン」
- ・10月25日
塩瀬隆之(経済産業省)
「研究と政策の邂逅」

- ・各回20—25人程度の参加者



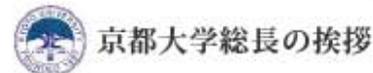
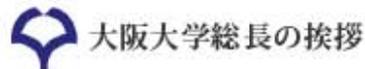
▶ 教員動画インタビュー video interviews with STiPS members



▶ 学生への動画メッセージ

更新情報

- 「シリーズ：科学技術イノベーション」第3回を開催しました
2012年08月03日公開
- 第2回プログラム推進委員会を開催しました
2012年08月01日公開
- 「シリーズ：科学技術イノベーション」



詳細は、<http://stips.jp/>